

# クロスカントリースキー競技の課題に関する考察 ～クロスカントリースキーの普及的側面から～

## A Study of Problems on Cross-Country Skiing —Focus on Spread of Cross-Country Skiing—

1K05A185

藤田 紘基

指導教員

主査 友添秀則先生

副査 宮内孝知先生

### 本研究の動機

私は小学校に入学する前の幼少期からクロスカントリースキーに触れて育ち、小学校 1 年生から大学 4 年生にいたるまでクロスカントリースキーを競技者という立場で取り組んできた。競技歴は 16 年目を迎え、スキー歴は 20 年に届こうとしている。クロスカントリースキー競技というマイナーで過酷なスポーツを愚直に続けてきた者として、クロスカントリースキー競技の更なる発展を常日頃から望んでいる。

そこで大学卒業と共に第一線での競技者の引退を考えるにあたり、クロスカントリースキーの普及に役立てたいと考えた。クロスカントリースキー競技を長年続けてきて身をもって感じることは競技人口が減少傾向にあるということである。クロスカントリースキー競技に魅せられ続けてきた者としてそのような状況を打破したいと考え、今一度クロスカントリースキー競技の現状や取り巻いている環境の抱える問題点と課題を見つけようと思った。そしてそのクロスカントリースキー競技が現状抱えている課題、問題点を解決策できるような考察すると共に、クロスカントリースキー競技のさらなる発展と普及につながることが出来るような提言につなげていきたい。併せてクロスカントリースキーでしか味わうことの出来ない魅力を述べ、クロスカントリースキーが世の中に広く普及するきっかけとなることを望む。

### 本研究の目的と方法

本研究は、クロスカントリースキー競技の現状と

問題点を発見し、それらの解決策を考察することでクロスカントリースキー競技の今後の発展につながる提案をすることを目的とする。

方法は書籍や研究論文、全日本スキー連盟のホームページに掲載されている資料をもとに考察するという文献研究とする。

### 各章の要約

#### 第 1 章、日本におけるクロスカントリースキー競技の発展の経緯

ノルウェーで発祥したといわれるクロスカントリースキーがどのようにして日本に伝来してきたか、そして戦前、戦後にわたるクロスカントリースキーの発展、全日本スキー連盟の発足と発展の経緯や日本人選手の海外技術の取入れについて、クロスカントリースキーにまつわる文献を基にして明らかにする。そしてクロスカントリースキーがどのようにして民衆へ普及、定着していったのか、日本におけるクロスカントリースキーの歴史を振り返る。

#### 第 2 章、クロスカントリースキー競技における現状と課題

この章ではクロスカントリースキー競技における現状を把握し、さまざまな問題点を考察していく。

全日本スキー連盟から頂いた 2001 年から 2008 年までの期間、全日本スキー連盟に競技者登録をしている各ウィンタースポーツの競技人口の推移がわかる資料を参照にし、読み取ることが出来る競技人口の推移から各ウィンタースポーツと比較したクロスカントリースキーの競技人口の変

遷の理由と問題点を考察していく。またクロスカントリースキーを含む各ウィンタースポーツの概要もこの章で説明する。

クロスカントリースキー競技を行うにあたって必要な環境を設定するために、どのような自然環境問題、社会的環境問題が生じるかを過去の事例を挙げながら論じ、雪が必要という条件から、限られた環境でしか取り組むことの出来ないクロスカントリースキーの普及の限界について考察していく。また、マイナー競技であるクロスカントリースキー競技の大きな問題として挙げられる選手の養成と雇用の問題をコーチング、マネジメントの視点からも考察していく。

### **第 3 章、クロスカントリースキー競技の今後の普及と発展に対する提言**

この章では、第 2 章で挙げたクロスカントリースキー競技に関係する自然環境及び、社会的環境に関する問題点を改善するための方法を考察

し、今後のクロスカントリースキー競技の発展へ繋げるためには何が必要か、提言へとつなげていく。またクロスカントリースキー競技の特性と魅力も述べることで、問題の改善点と併せてクロスカントリースキーの魅力伝えていきたい。

### **結章 本研究のまとめ**

本研究では、第 1 章の歴史的推移から、クロスカントリースキーの民衆からの受け入れなどの背景を追ってきた。第 2 章ではクロスカントリースキー競技の現状を把握するために全日本スキー連盟に登録している各ウィンタースポーツの競技登録者数の推移から考察を深め、クロスカントリースキー競技に関わる環境問題に関しても考察を深めた。第 3 章では、第 2 章で考察したクロスカントリースキー競技の発展を阻害すると考えられる問題点に対する改善策を考察し提言として述べることで今後のクロスカントリースキー界の発展を期待している。